

# 梅津だより 臨時号

平成26年 3月19日

本校教育アンケート（後期）の結果より

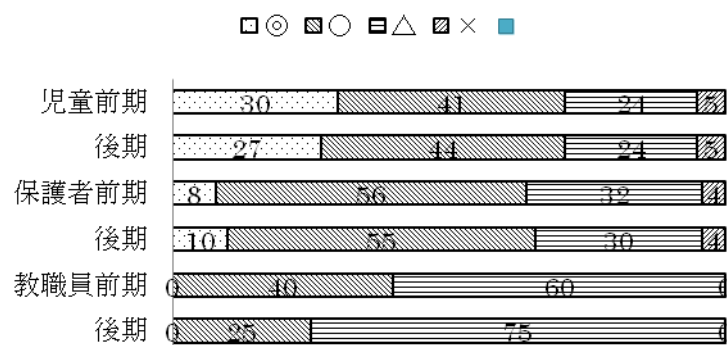
京都市立梅津小学校

校長 若松 秀一

1月に実施しましたアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回、保護者の方からは88.5%の回答を得ることができました。前期よりも少し回答率が上がり、嬉しく思っております。結果がまとまりましたので、報告させていただきます。

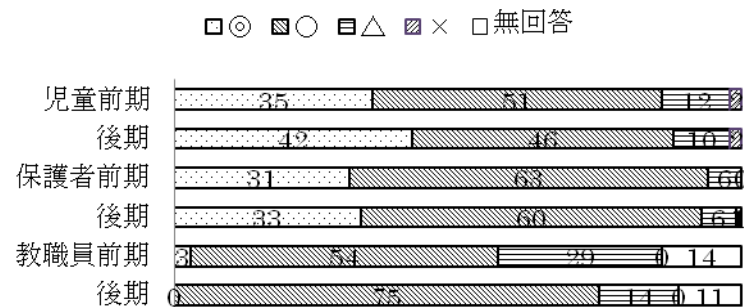
グラフにつきましては、全て棒の左から◎、○、△、×、無回答で表しています。なお、教職員の回答は、教員以外の職種も含めて集約していますので、「無回答」が生じますことをご了承ください。

## 正しい言葉づかいをしていますか



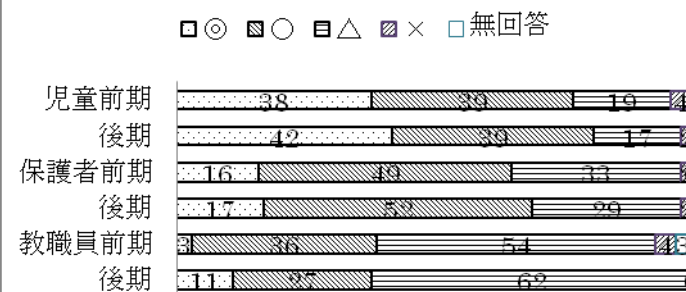
教職員は、75%が正しい言葉づかいができていないと捉えています。子どもたちが将来、社会人となった時に正しく言葉が使えるようにということも見据えて、指導を続けていきたいと思っています。

## 学校や学級のきまりを守れていますか



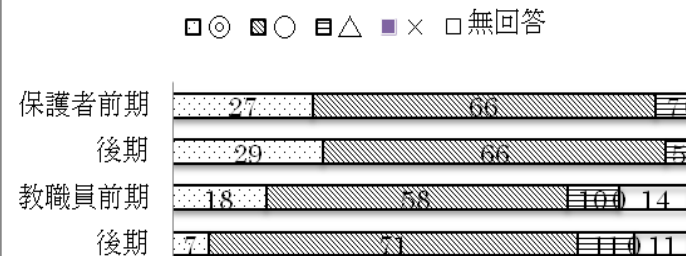
規範意識をもつことは、安全で健康な生活を維持する上で必要なことです。ちょっとくらいならいいだろうという気持ちはとても危険です。みんなが楽しく学校生活を送るためには、一人ひとりがきまりを守ることが大切です。

## 元気のよいあいさつができていますか



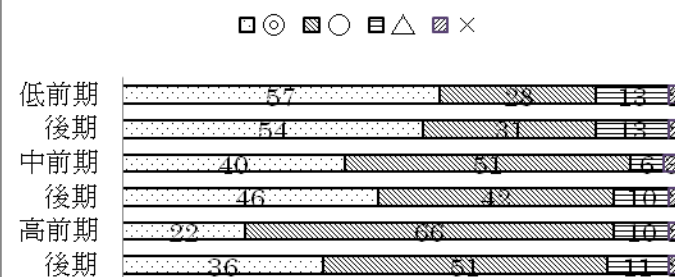
後期の方が少しばかりいい結果となりましたが、まだ十分にあいさつができていないと言います。人と人をつなぐ第一歩はあいさつから。自分から気持ちよくあいさつができるように引き続き働き掛けていきたいと思います。

## 子どもは他人を思いやり、親切にしている



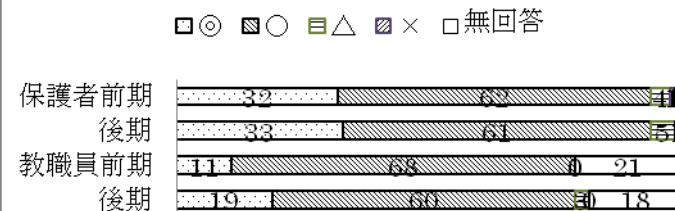
保護者・教職員ともに良い結果となりました。いじめ防止基本法が制定され、いじめの無い学校づくりをしていく上でも、他人を思いやり、親切にできる子どもをこれからも育てていきたいと思います。

## 勉強（授業）はよくわかりますか



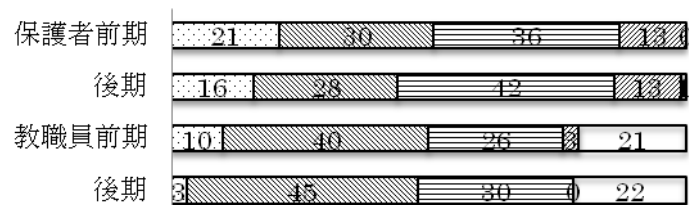
「授業がよく分かる」と答えている子どもの割合が、中・高学年で増えました。学校としては嬉しい結果です。また、授業そのものについても保護者の方からは9割を超える高い割合で良い評価をいただいております。この結果に満足することなく、教員自身も自己研鑽を積み、全ての子どもに届き、学力が高められる授業の構築を目指していきたいと思います。

## 教師はわかりやすい授業を心がけ、指導法の改善や工夫をしている



### 子どもは意欲的に読書している

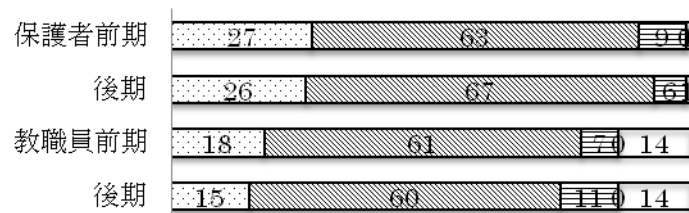
□◎ ■○ ▨△ ▩× □無回答



本校の児童は、「読む力」に課題があります。図書館も改装が進み、本が読みやすい、選びやすい環境が整いつつあります。学校での読書の時間も確保し、本を読む子・本が好きな子を増やしていきたいと思います。

### 学校は、気軽に質問や相談に対応している

□◎ ■○ ▨△ ■× □無回答



9割ほどの保護者の方が良い評価をしてくださっていますが、△の評価をされている方もあり、また、教職員の方も1割が△にしており、充分に対応できているとは言えません。改善策を考えていきたいと思います。

### 保護者の方より

- 個々に対してきめ細かい心配りをしていただいているので、とても有り難く思っています。少しずつ学校の雰囲気も変わってきているので、このまま良い方向へと向かってほしいと思います。
- 6年生の子どもたちは、みんな意欲的に授業に取り組んでいるように思われました。低学年の頃から、授業に楽しんで参加していると思います。
- いつもご指導いただきありがとうございます。5年生になり、子どもの成長をもっとも実感したのは運動会です。また、学習（総合）の米作り～発表まで地域の方々のご指導により、大変貴重な経験をさせていただき感謝しています。
- 今年度に入って、学校が少しずつきれいになっているのが分かります。
- 体育館やプール横のトイレをきれいにしてほしいです。
- あいさつのできない子が目立つ気がします。登校当番の時に、進んであいさつしてくれる子はまずいません。こちらからしても目を合わさなかったり、あいさつも返ってこなかったり…。わが子も含めですが、積極的にしっかりあいさつができる子が増えればと思います。
- 夏休みのプールの時間が少なくなったことや、折り紙教室がなかったのが残念でした。
- 先生方の生徒に対する言葉づかいが気になります。授業中も授業以外の時間も、子どもたちには丁寧な言葉で接していただきたいと思います。
- クラス委員に何回もあたっている人がいる中で、全くあたっていない人がいるのはおかしいと思うので、みんな平等にあたれるようにしてほしい。

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。全てを載せることができませんので、一部のご意見をご紹介しますことができました。

あいさつに関しては、毎回、このようなお声をいただきます。また、アンケートの結果からも、しっかりとあいさつができているとは言えません。あいさつの大切さ等については、学校でも指導を繰り返していますが、なかなか実践に結び付けられていないのが現状です。何とか改善策を探っていききたいと思います。

夏休みのプールは、子どもたちが楽しみにしていることは充分承知をしていますが、今年度からプールの監視体制を強化したり、低・中・高の3部制にしたりしたため、教員の当番の体制が組みにくくなりました。その結果、回数が少なくなりましたが、子どもたちの安全面を第一に考えた結果ですので、ご了承いただければと思います。

言葉づかいに関しては、ご指摘をしっかりと受け止め、改善していききたいと思います。「大人を見て子どもは育つ」ことを再確認していきます。

クラス委員さんについては、PTAの規約とも関わってくることで、ここで回答することはできませんが、不公平感のない委員さん選出の方法を考えていければいいですね。

体育館シューズの色についてのご意見もいただきました。来年度から、青色シューズのみを販売していただく方向です。新しく買い換えられる時は、青色シューズをお願いします。

アンケートの記名についてのご意見もいただきました。本校では「記名にご協力ください」という形をお願いしております。個別に対応した方がよいと思われるご意見が書かれていた時のため、また、ご自分の意見には責任をもっていただくためというのがその理由です。記名することに抵抗がある方もいらっしゃると思いますが、何とぞご協力をお願いしたいと思います。

この他にも、いろいろなご意見をいただきました。いただいたご意見は真摯に受け止めていきたいと思います。アンケートは、学校運営（学校教育目標の達成、目指す子ども像の達成）に対して、学校がどれだけのことができているかを評価していただくためのものです。良い結果はそれが維持できるように、良くない結果は改善策を講じ、更なる取組を進めていく必要があります。梅津小学校をよりよい学校にしていくために、今後ともご協力をお願い致します。

### 学校運営協議会からのご意見

- ・あいさつに関しては、子どもの方からというのは少ないが、大人から声をかけると丁寧に返してくれる子どももいる。地域の大人が積極的に声をかけていけば子どもたちもあいさつをするようになっていくのではないだろうか。
- ・「学校が楽しい」「友だちと仲良くできている」と感じている子どもが多いので、いじめはないのだろう。子どもが「いじめ」と感じていることは、大人から見ると「意地悪」であったり「いけず」であったりする。子どもはそれらの区別がはっきりとつけられていないのかもしれない。
- ・家庭で見えていくべき事柄（生活習慣、家庭学習、しつけに関すること等）は、後期の方が悪い評価になっているようである。言葉づかい等、親の姿が子どもに反映することは否めない。子どもがよりよく成長するためにも、保護者の方のより一層の子どもへの目配り、気配りをお願いしたい。